

## 第2章 本市の概況

### 1 統計資料からみた高齢者の現状

#### (1) 人口推移（高齢者の推移）

柏原市の総人口は、平成7年の80,303人から平成12年では79,227人、平成17年では77,034人と減少傾向が続いています。

一方、65歳以上の高齢者人口は年々増加し、平成17年には13,050人に達しています。また、0～14歳は年々減少を続けており、少子高齢化の傾向が顕著となっています。

人口推移

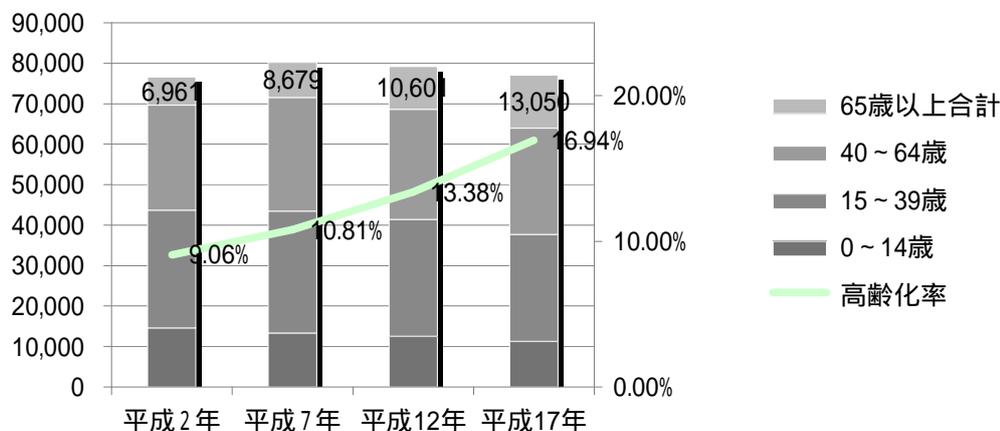
単位:人

	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年
0～14歳	14,564	13,360	12,513	11,282
15～39歳	29,101	30,132	28,900	26,394
40～64歳	25,948	28,069	27,199	26,306
65歳以上合計	6,961	8,679	10,601	13,050
前期高齢者	4,304	5,293	6,473	7,920
後期高齢者	2,657	3,386	4,128	5,130
総人口	76,819	80,303	79,227	77,034
高齢化率	9.06%	10.81%	13.38%	16.94%

年齢不詳分を総人口に含めています。

資料:国勢調査

(人) (高齢化率)



## (2) 高齢者の受診状況と疾病構造

平成19年6月における高齢者の受診状況で最も受診者が多い疾病は、「循環器系の疾患」で4,258人となっており、全体の約3割を占めている。

診療費が最も高いのも同じく「循環器系の疾患」で、約1億4,544万円となっています。

### 65歳以上の疾病構造

	受診件数(件)	構成比	診療費(円)	構成比
感染症及び寄生虫症	408	2.75%	11,542,080	2.40%
新生物	623	4.20%	57,009,150	11.83%
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	42	0.28%	3,064,390	0.64%
内分泌、栄養及び代謝疾患	1,539	10.36%	42,261,330	8.77%
精神及び行動の障害	329	2.22%	18,158,090	3.77%
神経系の疾患	251	1.69%	11,979,170	2.49%
眼及び付属器の疾患	1,841	12.40%	21,091,070	4.38%
耳及び乳様突起の疾患	201	1.35%	3,661,320	0.76%
循環器系の疾患	4,258	28.68%	145,442,770	30.19%
呼吸器系の疾患	869	5.85%	27,767,010	5.76%
消化器系の疾患	1,241	8.36%	34,425,770	7.14%
皮膚及び皮下組織の疾患	380	2.56%	3,010,120	0.62%
筋骨格系及び結合組織の疾患	1,660	11.18%	38,052,450	7.90%
尿路性器系の疾患	487	3.28%	35,135,420	7.29%
先天奇形、変形及び染色体異常	23	0.15%	485,190	0.10%
症状、症候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	358	2.41%	11,628,710	2.41%
損傷、中毒及びその他の外因の影響	339	2.28%	17,110,910	3.55%
合計	14,849	100.00%	481,824,950	100.00%

大阪府国民健康保険団体連合会 大阪府老人保健疾病統計

平成19年6月現在

## 2 介護保険制度に関わる高齢者の状況

### (1) 介護保険被保険者対象者（第1号被保険者数）の状況

平成20年9月末の第1号被保険者の所得段階別人数構成及び徴収方法別構成割合は、次のとおりとなっています。

所得段階別構成割合

所得段階		構成比
第1号被保険者	第1段階（生活保護・老齢福祉年金受給者で市民税世帯非課税者）	2.6%
	第2段階（課税公的年金等収入額と合計所得金額の合計額が80万円以下の市民税世帯非課税者）	18.5%
	第3段階（第1段階及び第2段階以外の市民税世帯非課税者）	11.4%
	第4段階（市民税世帯課税・本人非課税者）	28.8%
	第5段階（市民税課税者のうち合計所得金額が200万円未満の者）	24.2%
	第6段階（市民税課税者のうち合計所得金額が200万円以上の者）	14.5%

（平成20年9月末）

徴収方法別構成割合

		構成比
第1号被保険者	特別徴収対象者（うち併徴者を含む）	87.3%
	普通徴収対象者	12.7%

（平成20年9月末）

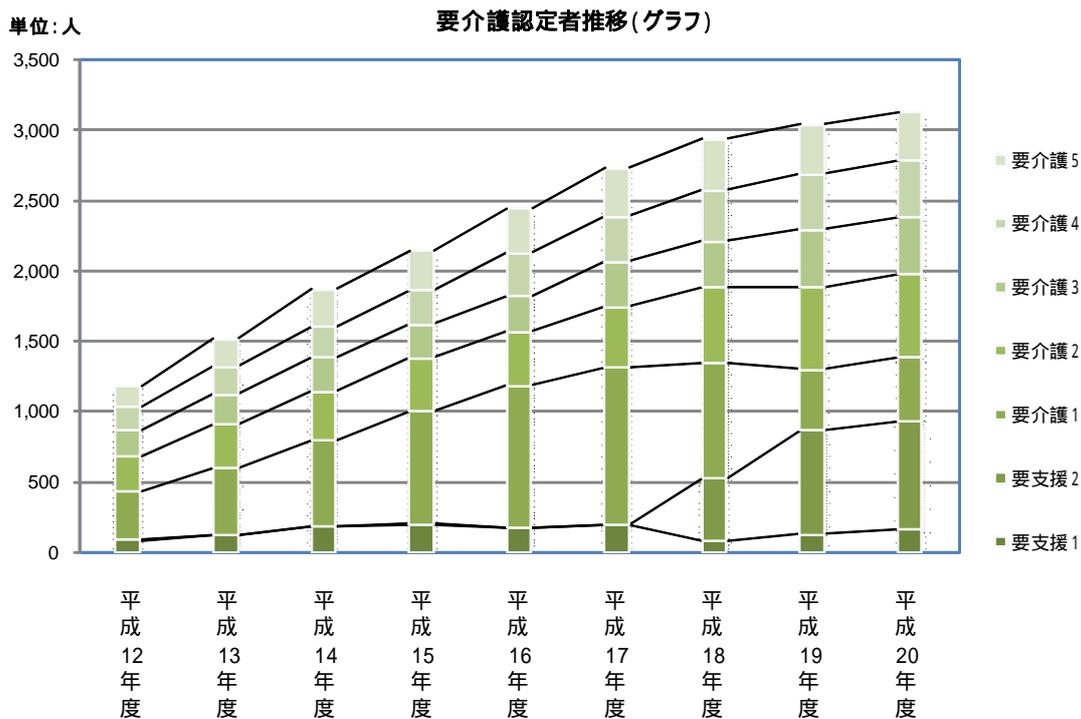
## (2) 要介護認定者数の推移

平成12年度に介護保険制度が始まってから、要介護認定者数は増加し続けており、平成12年度では1,186人であった要介護認定者は、平成20年度では3,130人となっています。

要介護認定者数推移 単位:人

	平成 12 年度	平成 13 年度	平成 14 年度	平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
要支援1	96	124	185	202	178	197	87	130	164
要支援2	(要支援)	(要支援)	(要支援)	(要支援)	(要支援)	(要支援)	444	742	772
要介護1	337	478	610	806	1,010	1,122	820	430	457
要介護2	249	307	351	371	379	424	535	584	587
要介護3	190	214	239	243	257	322	322	408	404
要介護4	163	192	218	240	303	323	367	389	402
要介護5	151	203	267	282	316	339	360	359	344
合計	1,186	1,518	1,870	2,144	2,443	2,727	2,935	3,042	3,130

(各年度9月末)



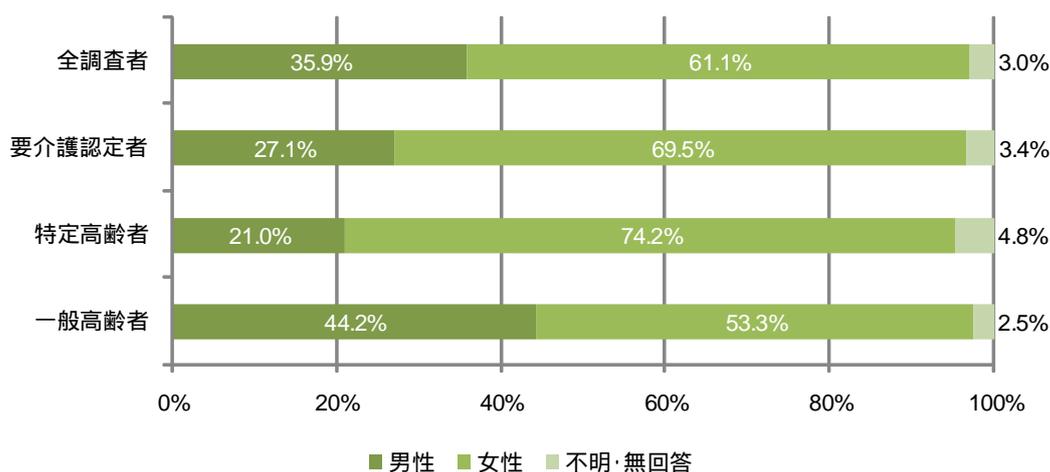
### 3 アンケート結果から見た高齢者の現状

#### (1) 調査対象者の属性

##### 調査者の性別

(単位：人)

性別	要介護認定者	特定高齢者	一般高齢者	全調査者
男性	155	13	316	484
女性	397	46	381	824
不明・無回答	19	3	18	40
合計	571	62	715	1,348



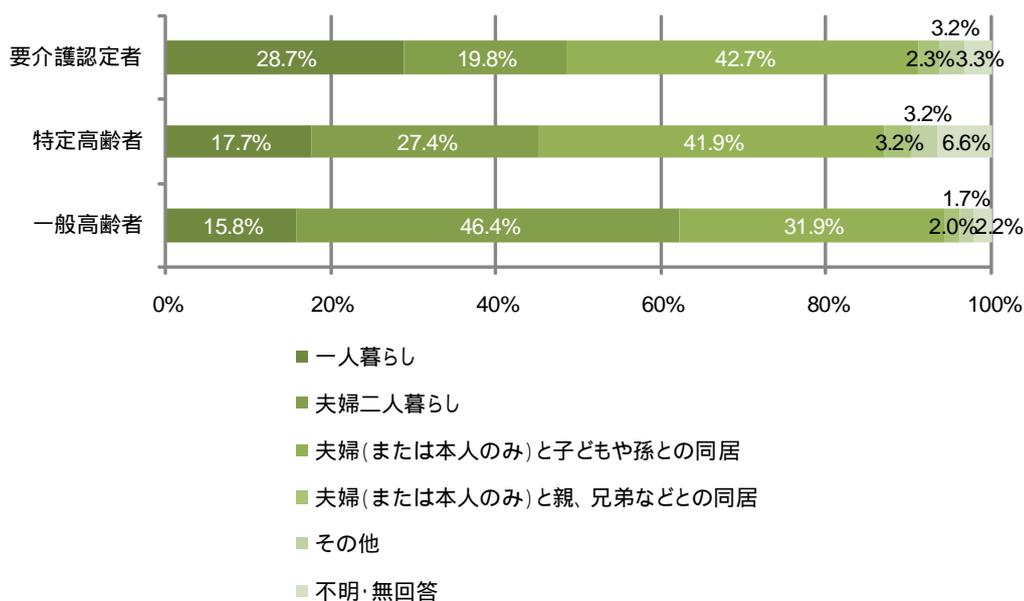
全調査者数(有効調査票数)は1,348人で、男性484人(35.9%)、女性824人(61.1%)でした。

男性の比率は、要介護認定者では27.1%、特定高齢者では21.0%、一般高齢者では44.2%となっています。一方、女性の比率は、要介護認定者では69.5%、特定高齢者では74.2%、一般高齢者では53.3%となっています。一般高齢者では、男性の比率が高くなっています。

## 世帯状況

(単位：人)

区分	要介護認定者	特定高齢者	一般高齢者
一人暮らし	164	11	113
夫婦二人暮らし	113	17	332
夫婦(または本人のみ)と子どもや孫との同居	244	26	228
夫婦(または本人のみ)と親、兄弟などとの同居	13	2	14
その他	18	2	12
不明・無回答	19	4	16
合計	571	62	715

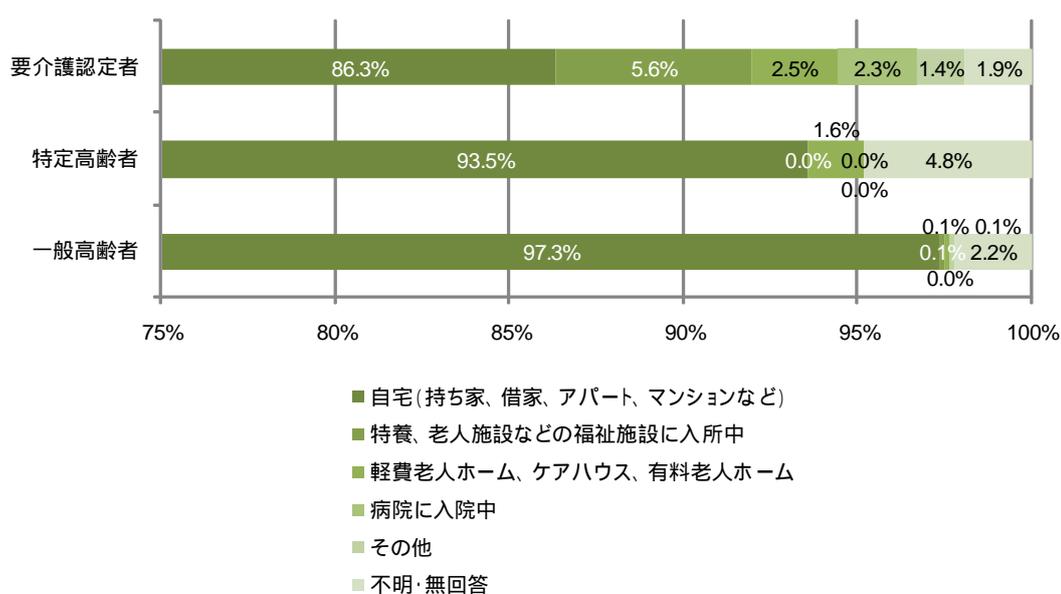


要介護認定者のうち、一人暮らしは164人(28.7%)で、夫婦二人暮らしは113人(19.8%)でした。これに対して、一般高齢者のうち、一人暮らしは113人(15.8%)で、夫婦二人暮らしは332人(46.4%)となっています。要介護認定者は、一般高齢者に比べて一人暮らし高齢者が倍近い率となっており、反対に、夫婦二人暮らしは2分の1以下の率となっています。

## 住まい状況

(単位：人)

区分	要介護認定者	特定高齢者	一般高齢者
自宅(持ち家、借家、アパート、マンションなど)	493	58	696
特養、老人施設などの福祉施設に入所中	32	0	1
軽費老人ホーム、ケアハウス、有料老人ホーム	14	1	1
病院に入院中	13	0	0
その他	8	0	1
不明・無回答	11	3	16
合計	571	62	715

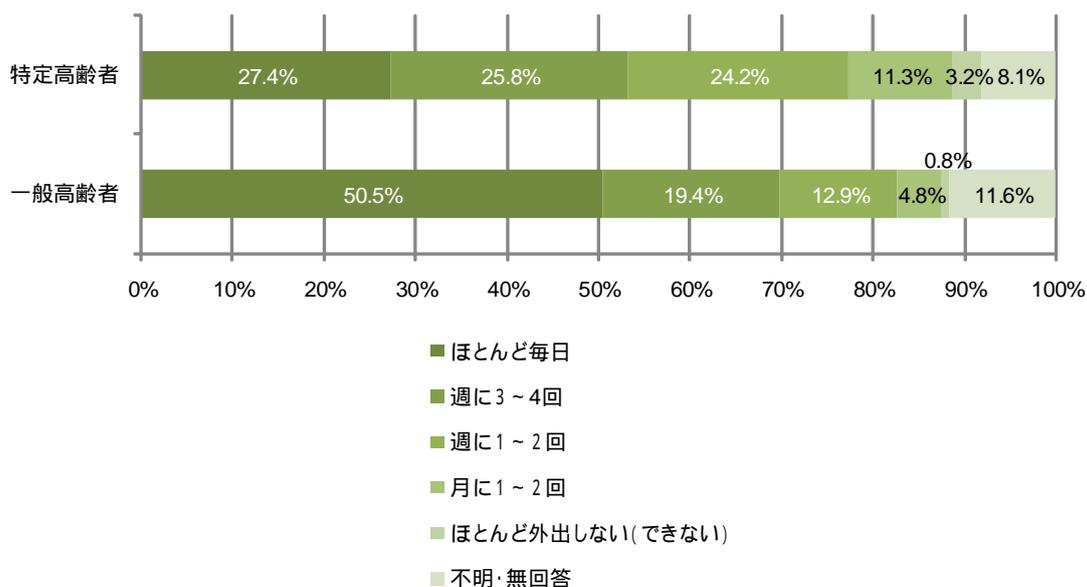


「自宅(持ち家、借家、アパート、マンションなど)に住んでいる」と答えた人は、介護認定者493人(86.3%)、特定高齢者58人(93.5%)、一般高齢者696人(97.3%)となっています。要介護認定者のうち、「特養、老人施設などの福祉施設に入所中」と答えた人は、32人(5.6%)となっています。

## (2) 調査対象者の自立度

普段どのくらいの頻度で外出していますか。(単位：人)

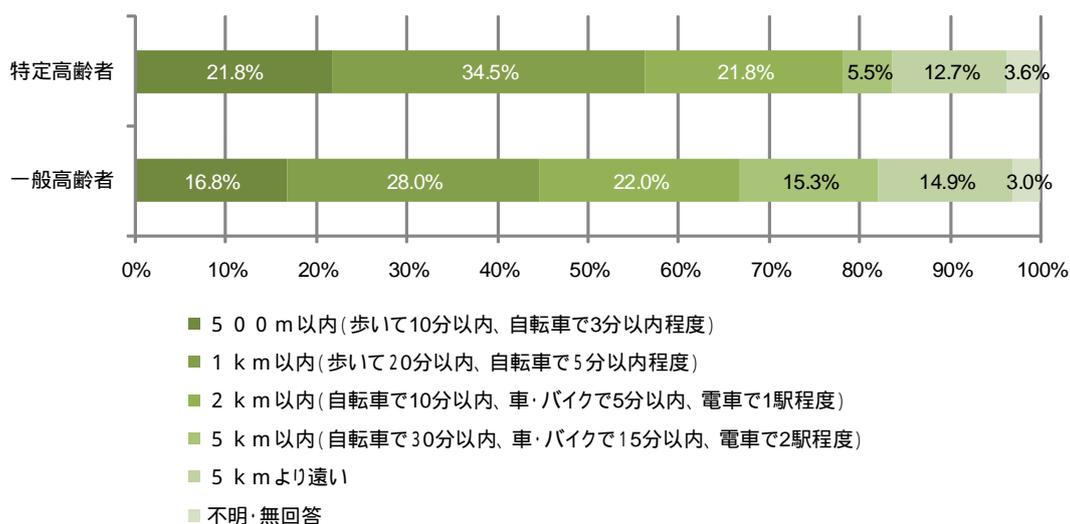
区分	特定高齢者	一般高齢者
ほとんど毎日	17	361
週に3～4回	16	139
週に1～2回	15	92
月に1～2回	7	34
ほとんど外出しない(できない)	2	6
不明・無回答	5	83
合計	62	715



外出頻度については、特定高齢者では「ほとんど毎日」が17人(27.4%)、「週に3～4回」が16人(25.8%)、一般高齢者では「ほとんど毎日」が361人(50.5%)、「週に3～4回」が139人(19.4%)と答えており、特定高齢者は一般高齢者に比べ外出頻度は少なくなっています。また、「月に1～2回」と答えた人と「ほとんど外出しない」と答えた人を合わせると、特定高齢者では約15%、一般高齢者では約6%になっています。

日常の外出（買い物又は通院など）の範囲は、住まいの場所からどれぐら  
 いの範囲が多いですか。 （単位：人）

区分	特定高齢者	一般高齢者
500m以内(歩いて10分以内、自転車で3分以内程度)	12	105
1km以内(歩いて20分以内、自転車で5分以内程度)	19	175
2km以内(自転車で10分以内、車・バイクで5分以内、電車で1駅程度)	12	138
5km以内(自転車で30分以内、車・バイクで15分以内、電車で2駅程度)	3	96
5kmより遠い	7	93
不明・無回答	2	19
合計	55	626

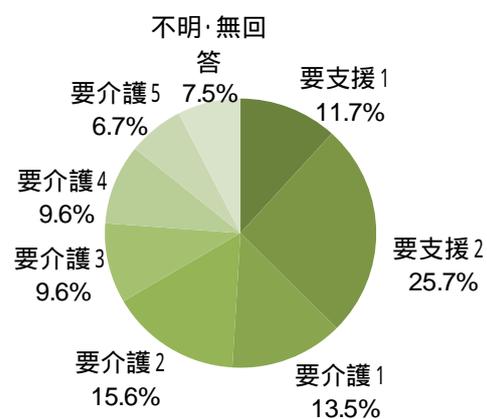


日常の外出範囲は、「500m以内(歩いて10分以内、自転車で3分以内程度)」と答えた人は、特定高齢者12人(21.8%)、一般高齢者105人(16.8%)、「1km以内(歩いて20分以内、自転車で5分以内程度)」と答えた人は、特定高齢者19人(34.5%)、一般高齢者175人(28.0%)、「2km以内(自転車で10分以内、車・バイクで5分以内、電車で1駅程度)」と答えた人は、特定高齢者12人(21.8%)、一般高齢者138人(22.0%)となっており、特定高齢者の約8割、一般高齢者の約7割の人が日常2km以内の範囲で外出しています。

あなたの現在の要介護度はどれですか。

(単位：人)

区分	要介護認定者
要支援1	67
要支援2	147
要介護1	77
要介護2	89
要介護3	55
要介護4	55
要介護5	38
不明・無回答	43
合計	571



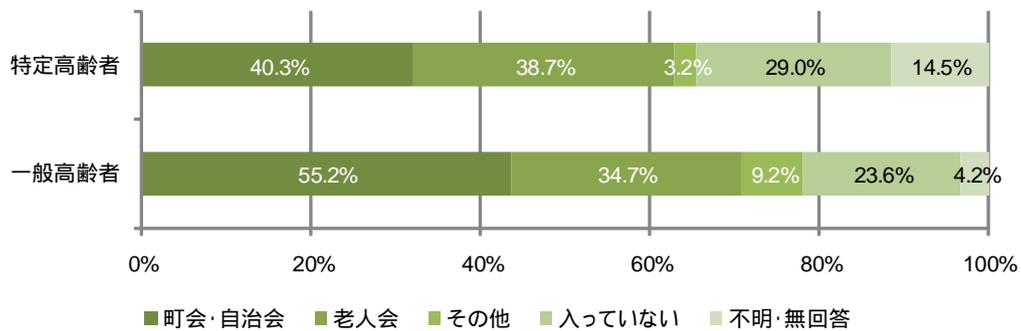
要介護認定者の現在の介護度は、「要支援2」が147人(25.7%)と最も高くなっており、次いで「要介護1」が77人(13.5%)、「要支援1」が67人(11.7%)と比較的介護度の低い人が全体の約半数を占めています。

### (3) 地域とのつながり

地域の組織やグループについて何か入っているものはありますか。(複数回答可)

(単位：人)

区分	特定高齢者	一般高齢者
町会・自治会	25	395
老人会	24	248
その他	2	66
入っていない	18	169
不明・無回答	9	30
合計	78	908



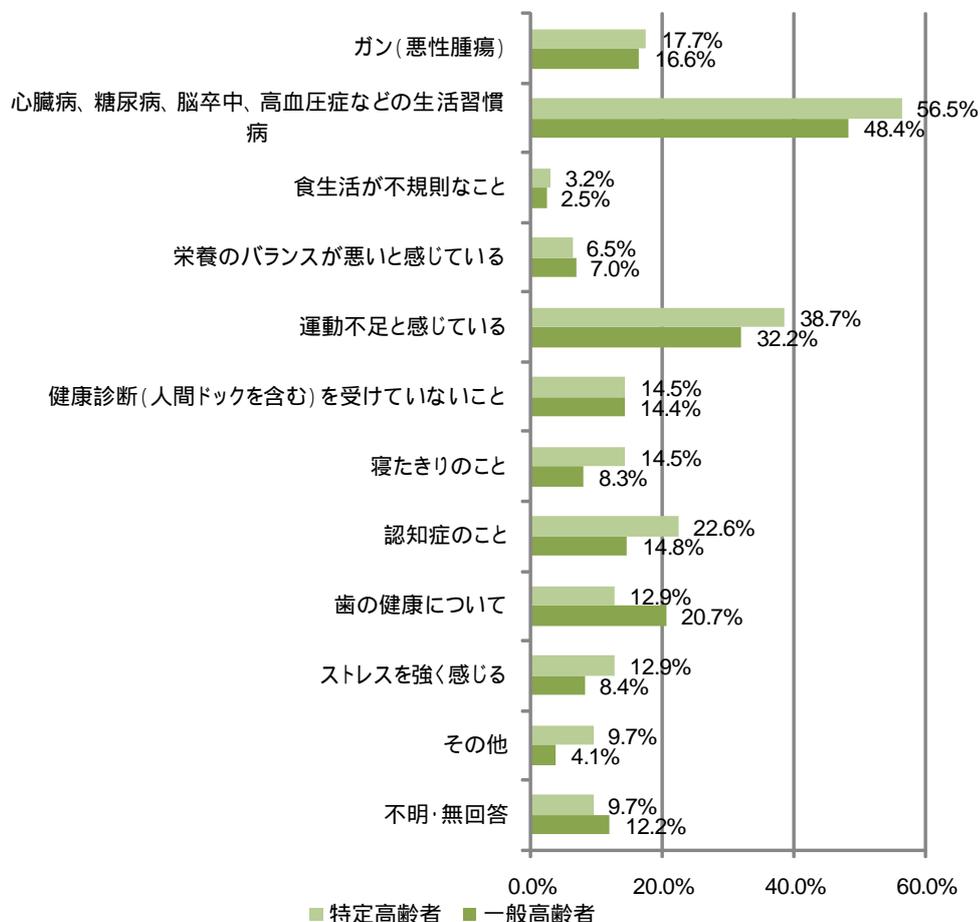
特定高齢者のうち、18人(23%)の人が、また、一般高齢者のうち、169人(18.6%)の人が地域の組織やグループに入っていないと答えています。

#### (4) 健康及び介護予防に対する意識

##### 健康について不安なこと。(複数回答可)

(単位：人)

区分	特定高齢者	一般高齢者
ガン(悪性腫瘍)	11	119
心臓病、糖尿病、脳卒中、高血圧症などの生活習慣病	35	346
食生活が不規則なこと	2	18
栄養のバランスが悪いと感じている	4	50
運動不足と感じている	24	230
健康診断(人間ドックを含む)を受けていないこと	9	103
寝たきりのこと	9	59
認知症のこと	14	106
歯の健康について	8	148
ストレスを強く感じる	8	60
その他	6	29
不明・無回答	6	87
合計	136	1,355



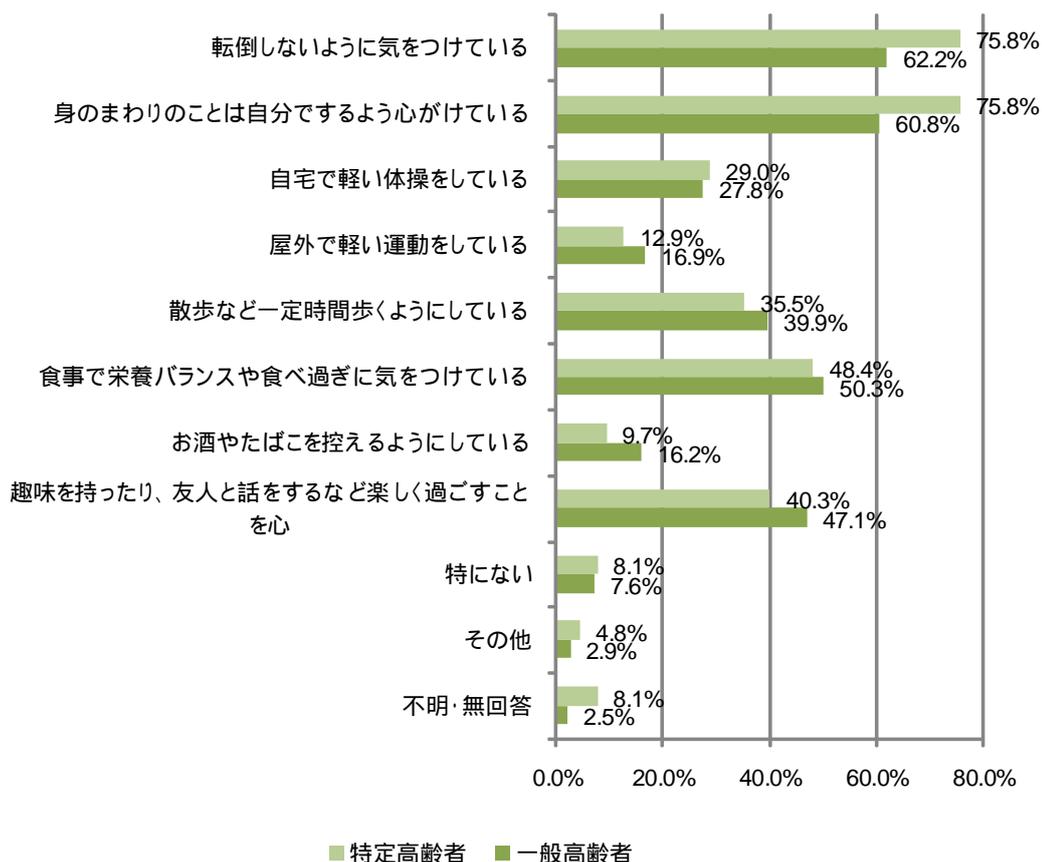
「心臓病、糖尿病、脳卒中、高血圧症などの生活習慣病」について、特定高齢者では35人(56.5%)が、一般高齢者では346人(48.4%)が不安

であると答えています。次いで「運動不足と感じている」と答えた人が、特定高齢者では24人(38.7%)、一般高齢者では230人(32.2%)となっています。その他、一般高齢者では、「歯の健康について」、「ガン(悪性腫瘍)」、「認知症のこと」が不安であることの上位を占めています。

**健康や介護予防のために気をつけていることはありますか。(複数回答可)**

(単位:人)

区分	特定高齢者	一般高齢者
転倒しないように気をつけている	47	445
身のまわりのことは自分ですよう心がけている	47	435
自宅で軽い体操をしている	18	199
屋外で軽い運動をしている	8	121
散歩など一定時間歩くようにしている	22	285
食事で栄養バランスや食べ過ぎに気をつけている	30	360
お酒やたばこを控えるようにしている	6	116
趣味を持ったり、友人と話すなど楽しく過ごすことを心がけている	25	337
特にない	5	54
その他	3	21
不明・無回答	5	18
合計	216	2,391

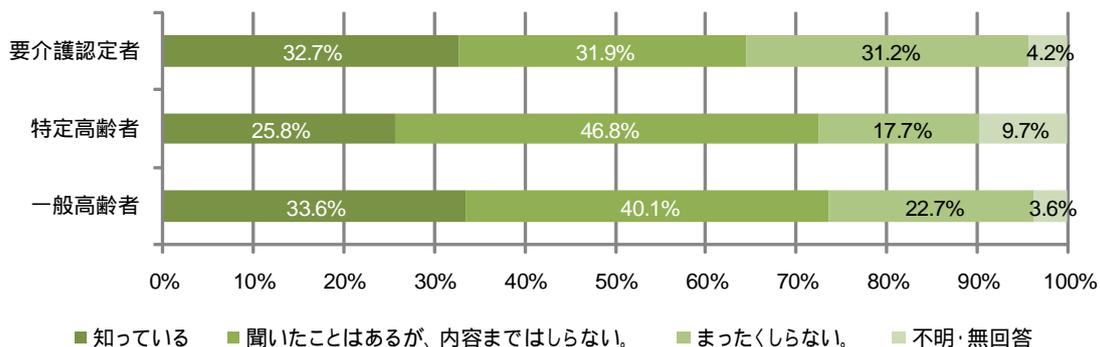


「転倒しないように気をつけている」と答えた人が特定高齢者では47人(75.8%)、一般高齢者では445人(62.2%)、それぞれ最も多く、次いで「身のまわりのことを自分でするよう心がけている」と答えた人が、特定高齢者では47人(75.8%)、一般高齢者では435人(60.8%)、「食事や栄養バランスや食べすぎに気をつけている」が特定高齢者では30人(48.4%)、一般高齢者では360人(50.3%)となっています。

「できる限り介護を必要とせず、いつまでも自立して生活を送れるようにする」という介護予防の考え方がありますが、あなたは「介護予防」という言葉を知っていますか。

(単位：人)

区分	要介護認定者	特定高齢者	一般高齢者
知っている	187	16	240
聞いたことはあるが、内容までは知らない。	182	29	287
まったく知らない。	178	11	162
不明・無回答	24	6	26
合計	571	62	715



介護予防について「知っている」と答えた人は、要介護認定者では187人(32.7%)、特定高齢者では16人(25.8%)、一般高齢者では240人(33.6%)となっています。また、「聞いたことはあるが、内容まで知らない。」と答えた人は、要介護認定者では182人(31.9%)、特定高齢者では29人(46.8%)、一般高齢者では287人(40.1%)でした。「まったく知らない」と答えた人は、要介護認定者で178人(31.2%)、特定高齢者で11

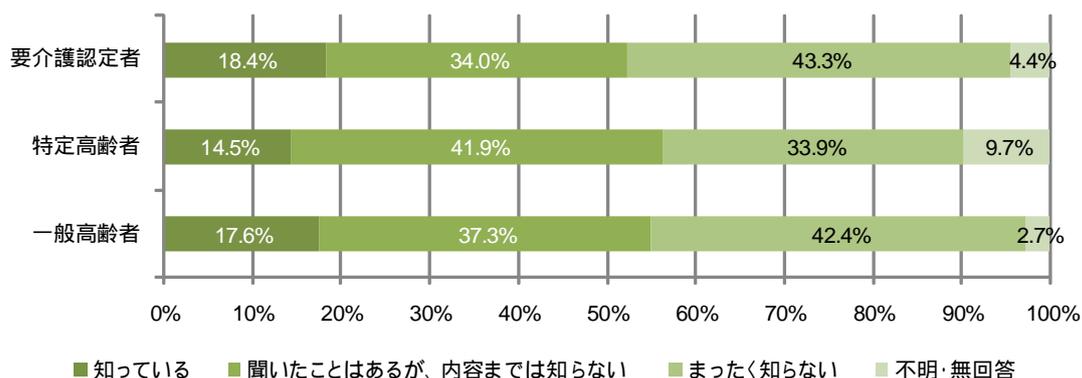
人(17.7%)、一般高齢者で162人(22.7%)となっております。特定高齢者及び一般高齢者のそれぞれ約2割の人が「介護予防」という言葉を「まったく知らない」と答えています。



## (5) 地域支援について

あなたは、「柏原市高齢者いきいき元気センター（地域包括支援センター）」  
を知っていますか。 (単位：人)

区分	要介護認定者	特定高齢者	一般高齢者
知っている	105	9	126
聞いたことはあるが、内容までは知らない	194	26	267
まったく知らない	247	21	303
不明・無回答	25	6	19
合計	571	62	715

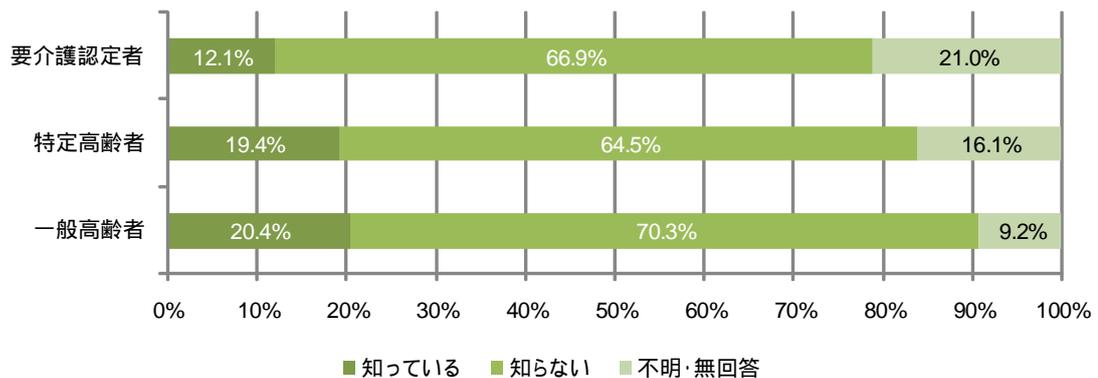


柏原市高齢者いきいき元気センターを「知っている」と答えた人が、要介護認定者では105人(18.4%)、特定高齢者では9人(14.5%)、一般高齢者では126人(17.6%)となっており、「聞いたことはあるが、内容までは知らない」と答えた人が、要介護認定者では194人(34.0%)、特定高齢者では26人(41.9%)、一般高齢者では267人(37.3%)となっています。おおむね5割を越える人が「知っている」あるいは「聞いたことはあるが、内容まで知らない」と答えています。

あなたは虐待について相談先を知っていますか。

(単位：人)

区分	要介護認定者	特定高齢者	一般高齢者
知っている	69	12	146
知らない	382	40	503
不明・無回答	120	10	66
合計	571	62	715



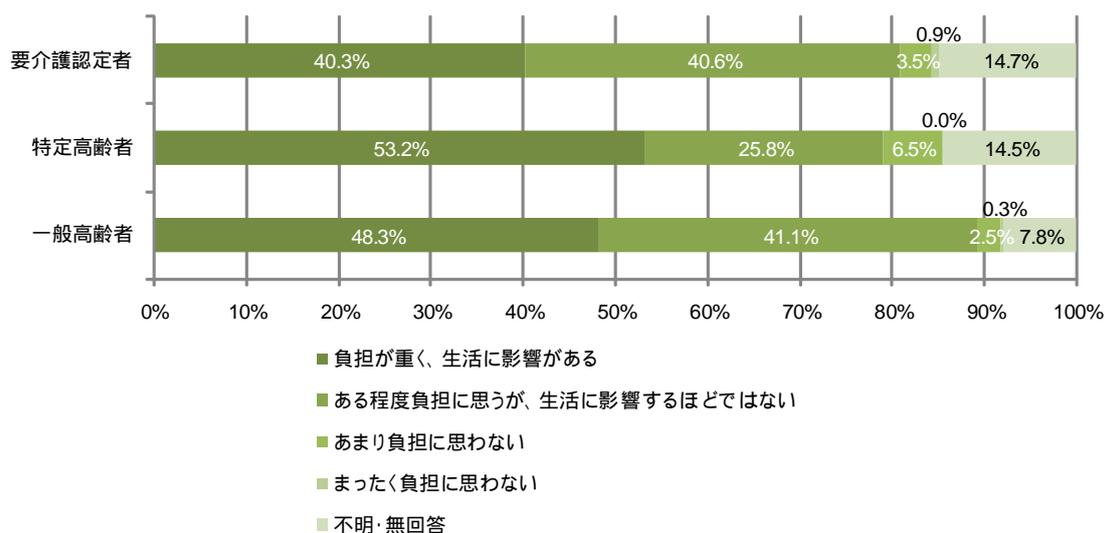
虐待の相談先について、「知っている」と答えた人は、要介護認定者では69人(12.1%)、特定高齢者では12人(19.4%)、一般高齢者では146人(20.4%)となっています。これに対して、「知らない」と答えた人は、要介護認定者では382人(66.9%)、特定高齢者では40人(64.5%)、一般高齢者では503人(70.3%)となっており、約6割から7割の人が「知らない」と答えています。

## (6) 介護保険料について

納めている介護保険料の金額についてどう思いますか。

(単位：人)

区 分	要介護認定者	特定高齢者	一般高齢者
負担が重く、生活に影響がある	230	33	345
ある程度負担に思うが、生活に影響するほどではない	232	16	294
あまり負担に思わない	20	4	18
まったく負担に思わない	5	0	2
不明・無回答	84	9	56
合計	571	62	715

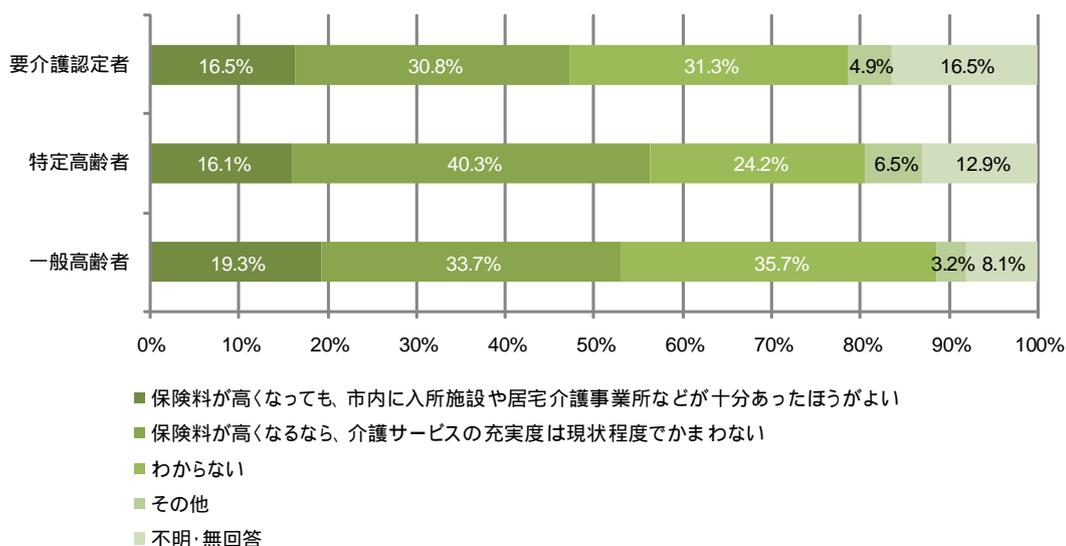


納めている介護保険料の金額について、「負担が重く、生活に影響がある」と答えた人は、要介護認定者では230人(40.3%)、特定高齢者では33人(53.2%)、一般高齢者では345人(48.3%)となっており、「ある程度負担に思うが、生活に影響するほどではない」と答えた人は、要介護認定者では232人(40.6%)、特定高齢者では16人(25.8%)、一般高齢者では294人(41.1%)となっています。これに対し、「あまり負担に思わない」、「まったく負担に思わない」と答えた人を合わせると、要介護認定者では25人(4.4%)、特定高齢者では4人(6.5%)、一般高齢者では20人(2.8%)となっています。

介護保険料は介護サービスの供給量が影響します。保険料とサービスの供給量の関係について素直なご意見をお答え下さい。

(単位：人)

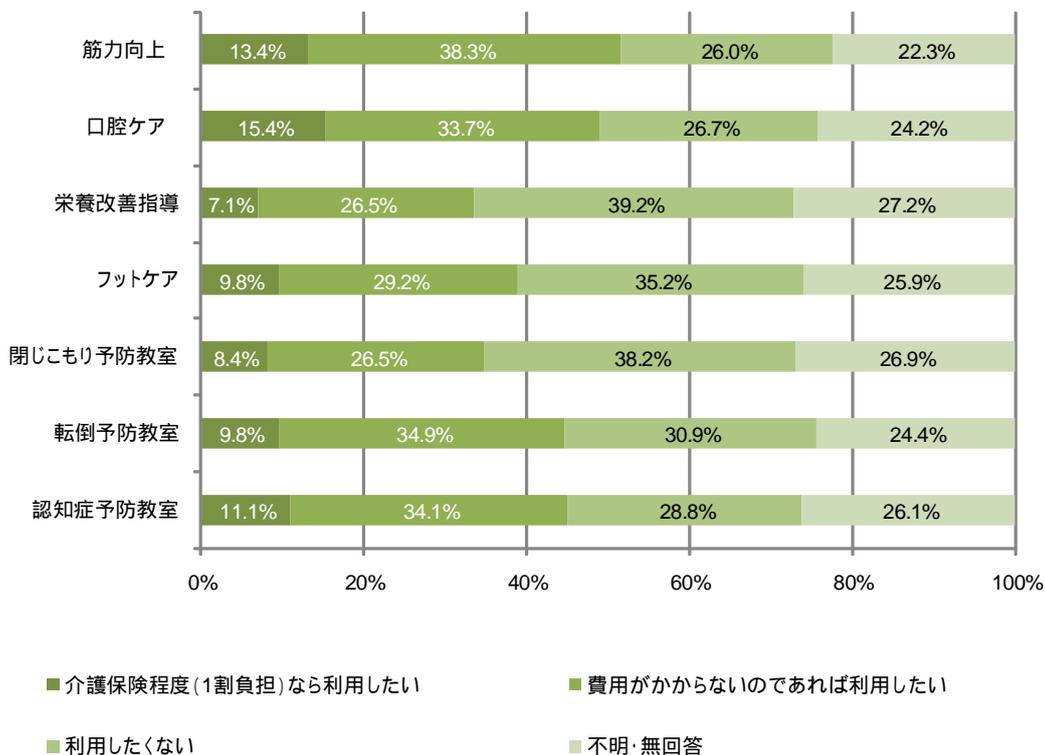
区 分	要介護認定者	特定高齢者	一般高齢者
保険料が高くなっても、市内に入所施設や居宅介護事業所などが十分あったほうがよい	94	10	138
保険料が高くなるなら、介護サービスの充実度は現状程度でかまわない	176	25	241
わからない	179	15	255
その他	28	4	23
不明・無回答	94	8	58
合計	571	62	715



「保険料が高くなっても、市内に入所施設や居宅介護事業所などが十分あったほうがよい」と答えた人は、要介護認定者では94人(16.5%)、特定高齢者では10人(16.1%)、一般高齢者では138人(19.3%)となっており、「保険料が高くなるなら、介護サービスの充実度は現状程度でかまわない」と答えた人は、要介護認定者では176人(30.8%)、特定高齢者では25人(40.3%)、一般高齢者では241人(33.7%)となっています。また、「わからない」と答えた人は、要介護認定者では179人(31.3%)、特定高齢者では15人(24.2%)、一般高齢者では255人(35.7%)となっています。

## (7) 保健、福祉及び介護予防教室について

介護予防に効果があるとされるサービスが市内で提供された場合、利用したいと思いますか。



「介護保険程度（1割負担）なら利用したい」、「費用がかからないのであれば利用したい」と答えた人を合わせると、約8割の人が利用したいと答えています。特に、筋力向上（51.7%）、口腔ケア（49.1%）、転倒予防教室（44.7%）及び認知症予防教室（45.2%）については、約5割の人が「利用したい」と答えています。

## 4 将来推計人口

### (1) 計画年度における推計人口

平成14～19年の5年間の住民基本台帳の異動を基としたコーホート要因法による平成21～26年の人口推計を行った結果が以下の表です。

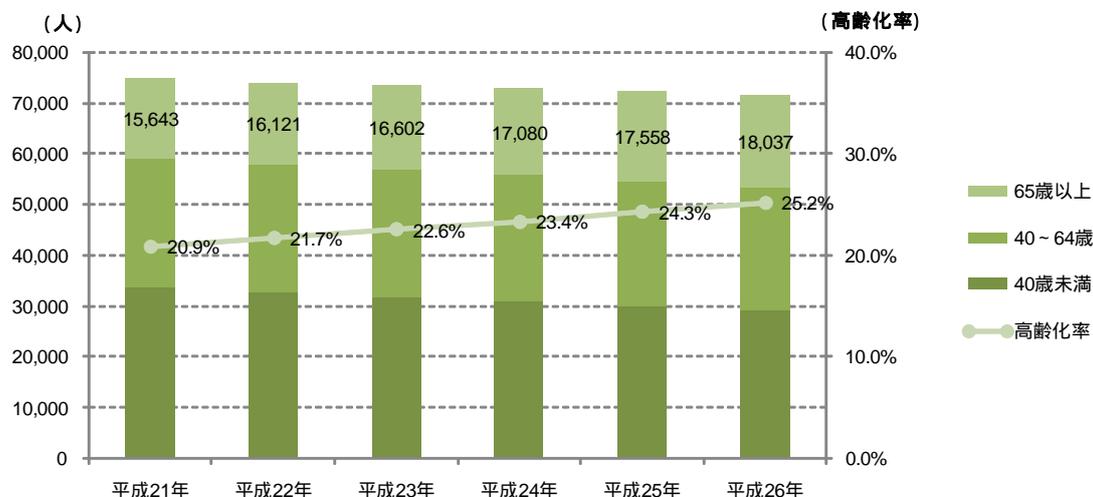
総人口が減少し続ける一方、65歳以上の高齢者人口は、平成21年の15,643人に対し、平成23年では16,602人、平成26年には18,037人に達する見込みです。

また、総人口に占める65歳以上の高齢者人口の割合を示す高齢化率は、平成21年で20.9%、平成23年で22.6%、平成26年で25.2%と見込まれ、超高齢社会の到来を示しています。

単位：人

	推計値					
	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
40歳未満	33,746	32,793	31,839	30,884	30,071	29,257
40～64歳	25,366	25,224	25,083	24,942	24,543	24,146
65歳以上	15,643	16,121	16,602	17,080	17,558	18,037
前期高齢者	9,318	9,485	9,653	9,820	9,951	10,083
後期高齢者	6,325	6,636	6,949	7,260	7,607	7,954
総人口	74,755	74,138	73,524	72,906	72,172	71,440
高齢化率	20.9%	21.7%	22.6%	23.4%	24.3%	25.2%

推計方法：コーホート要因法



## (2) 計画年度における要介護認定者数の推計

要介護認定者数は、高齢化に伴い大幅に増加してきましたが、平成18年度から開始された地域支援事業などの介護予防の取組により平成23年度には3,479人、平成26年度には3,953人になると見込まれます。平成18年度に要支援の区分が細分化されるなど認定方法が変更され、要支援の人数が平成18年度以降大きく増加し、今後も増加すると見込まれます。

要介護認定者数推移

単位:人

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
要支援1	169	177	185	193	201	209
要支援2	761	797	834	870	908	946
要介護1	487	511	534	559	583	609
要介護2	610	639	669	697	729	760
要介護3	410	430	450	470	492	512
要介護4	412	433	453	472	494	515
要介護5	324	339	354	370	385	402
合計	3,173	3,326	3,479	3,631	3,792	3,953

単位:人

要介護認定者推計(グラフ)

